

V2G実証事業の概要

<実証内容>

- ・実証試験用のオンラインシステムの導入

2018年度に導入した実証試験用システムと、技術実証の中で整理した技術要件をもとに、実証サイトに駐車中のEV/PHEVを同時にV2G制御するオンラインシステムを構築する予定です。

- ・リソースの拡充

2018年度の実証事業から42台のEVPS^{*1}を追加導入（表1）し、国内最大規模のV2G実証環境を構築する予定（図1）です。

表1 2019年度のV2G実証事業におけるリソース内訳

| 実証サイト | EV/PHEV 台数 | 車両用途 | EVPS 台数 |
|---------------------|---------------------|-------------------|---------------|
| 静岡ガス（株） 東部支社 | 2台（EV：1台、PHEV：1台） | 通勤用：2台 | 2台 |
| 静岡ガス（株） 吉原基地 | 5台（EV：4台、PHEV：1台） | 通勤用：5台 | 5台 |
| 三菱自動車工業 （株）岡崎製作所 | 50台（PHEV：+40台） | 通勤用：50台 | 50台 （+40台） |
| 横浜市旭土木 事務所 | 1台（EV：+1台） | 業務用：1台 | +1台 |
| 協働事業者 敷地内 | 1台（PHEV：+1台） | 業務用：1台 | +1台 |
| 合計 | 59台（EV：6台、PHEV：53台） | 通勤用：57台 業務用：2台 | 59台 |

※「+」の台数は2019年度新規分

<検討内容>

- ・技術実証の検討

2018年度に引き続き、電力系統安定化に向けた検証（図2）を実施し、実証サイトのリソースを同時に制御する場合の課題などについて検討を実施します。

- ・ビジネスモデルの検討

EV/PHEVのモビリティニーズ^{*2}を踏まえたV2Gの実現方法について検討するとともに、EV/PHEVおよびEVPS導入者から見たV2Gの活用メリットについて検討を実施する予定です。

※1 EVパワーステーションの略。充放電スタンドのこと。

※2 自動車としての本来の用途。

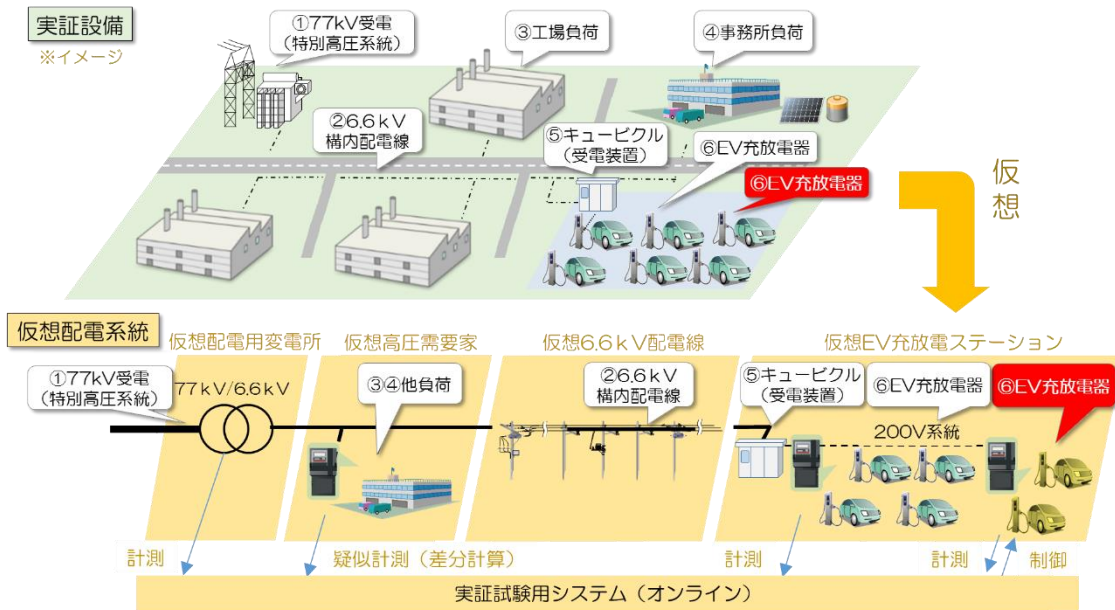


図1 実証サイトの一例

配電混雑緩和/電圧上昇回避

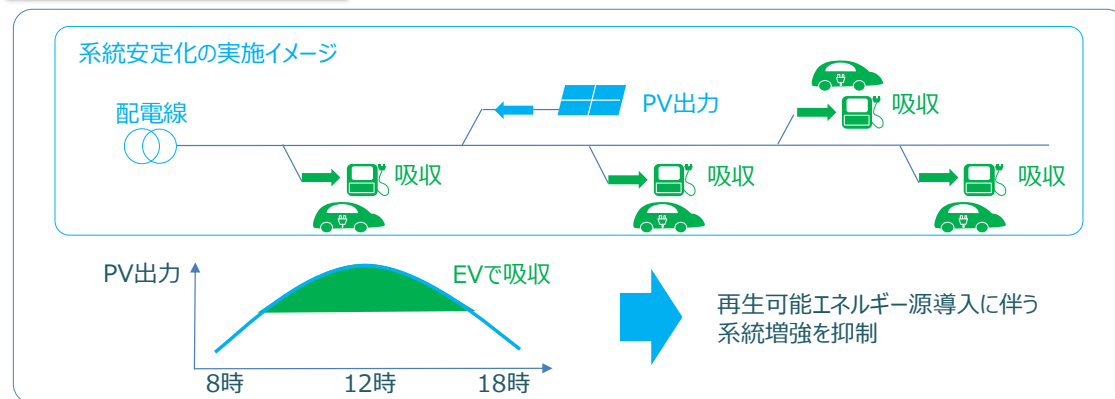


図2 技術検証項目の一例

以上